

「共立女子大学・短期大学 2017スポーツフォーラム」



東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に、実際ボランティアとしてどう関われるのかを、障がい者スポーツ支援の視点で理解することを目的に開催します。

■ **開催日時**：2017年12月6日(水) 13時00分～16時00分(開場12時30分)

■ **会場**：共立講堂(千代田区一ツ橋2-2-1)

■ **テーマ**：オリンピック・パラリンピックにおいて、ボランティアとしてどう参加・協力できるか

■ **参加予定者**：共立女子大学・共立女子短期大学在学生・卒業生、千代田区在住・在勤者、近隣の小・中・高校生・大学生

■ **定員**：500名

■ **申込方法**：共立女子大学・共立女子短期大学在学生は学内システムを利用し申込、千代田区民他一般の方は電話またはFAXにて申込

■ **参加費**：入場無料

■ **言語**：日本語
(手話通訳付き)

■ **主催**：共立女子大学・共立女子短期大学

■ **後援**：千代田区、東京ガス株式会社、(社福)千代田区社会福祉協議会

《プログラム》

開会挨拶 石川 雅己(千代田区長)

基調講演 「共生社会実現への道」

高橋 秀文(日本障がい者スポーツ協会常務理事、日本パラリンピック委員会副委員長)

高橋 秀文(たかはし ひでふみ)

日本障がい者スポーツ協会常務理事
日本パラリンピック委員会副委員長

1978年、東京ガス入社。導管企画部長、神奈川支社長、リビング本部営業第一部長・執行役員などを経て、現在は顧問。2014年、日本障がい者スポーツ協会理事。同年、日本パラリンピック委員会副委員長に就任。



～休憩・障がい者スポーツ紹介～

- 障がい者スポーツ・用具紹介コーナー
(ボッチャ・ブラインドサッカー・伴走マラソン・義足)
- 競技体験コーナー(ボッチャ)
- 清水一二写真展「知ることが力になる」

講演 「障がい者スポーツの魅力」

清水 一二(写真家)

清水 一二(しみず かずじ)

写真家

1954年 横浜市生まれ
フォトサービス・ワン代表
日本写真家協会会員
日本スポーツプレス協会会員
国際パラリンピック委員会メディアスタッフ
1998年(長野)、2000年(シドニー)



質疑・応答 高橋 秀文・清水 一二・

水上 真衣(東京ガス) 仁川アジアパラ競技大会銀メダリスト

水上 真衣(みずかみ まい)

アスリート

1994年 東京生まれ
新生児期脳梗塞による右片麻痺で、リハビリのために2歳から水泳を始める。中学2年生から障がい者水泳に取り組み、国内外の大会で数々のメダルを獲得するとともに、日本記録を更新。感謝と笑顔を大切に、東京2020パラリンピックを目指す。



ボランティア情報等の紹介

(社福)千代田区社会福祉協議会

閉会挨拶 入江 和生(共立女子大学・共立女子短期大学 学長)

◎会場内に「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」用の、使用済小型家電(携帯電話・デジタルカメラなど)の回収ボックスを設置します。

《申し込み先》

【学生課】千代田区一ツ橋2-2-1 TEL 03-3237-2611 FAX 03-3237-1278
(平日のみ:9時~17時まで受付)

氏名	職業	歳	男・女
住所	電話		

※申し込みにより取得した個人情報については、フォーラムの参加者確認のみ使用します。